

「沖縄総合観光施策推進室」の発足

～沖縄県内の市町村等からのニーズを
的確に把握し、観光施策に反映～



推進室発足

観光は沖縄の基幹産業ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受けており、観光の再生を図ることが沖縄全体にとって喫緊の課題となっています。

このような中で、沖縄総合事務局としても、沖縄の市町村などからの観光に関するニーズを的確に吸い上げ、沖縄県内における国の部課室横断的な連携を推進することにより、観光施策の企画・立案・調整を積極的に行う体制を強化するため、令和3年1月19日付けで、沖縄総合事務局において新たに「沖縄総合観光施策推進室」を発足させました。

推進室の体制

推進室は、運輸部長を室長として、合計19名の職員でスタートしました。沖縄総合事務局は、国の唯一の総合出先機関であり、各省庁の持つ様々な施策を活用し、沖縄の振興を効率的・一体的に推進していくという強みがあります。

推進室は、沖縄総合事務局の運輸部のほか、総務部、財務部、農林水産部、経済産業部、開発建設部の各日から横断的に職員を配置し、当局の持つ総合力を発揮できるような体制

なっています。

発足式で、吉住局長は「市町村や観光関係団体などから寄せられる要望などもしっかりと整理・分析しながら、積極的に取り組んでいくことが必要」、「各部の業務との関係で負担が過大とならないよう、上司や同僚と勤務状況を共有しつつ、効率的な業務遂行を心掛けて下さい」などと述べました。



発足式での吉住局長からの職員訓示

当面の取組

市町村や観光地域づくり法人(DMO)、観光協会、関係団体などからの様々な観光施策に関する要望を受けて整理・分析し、推進室での取

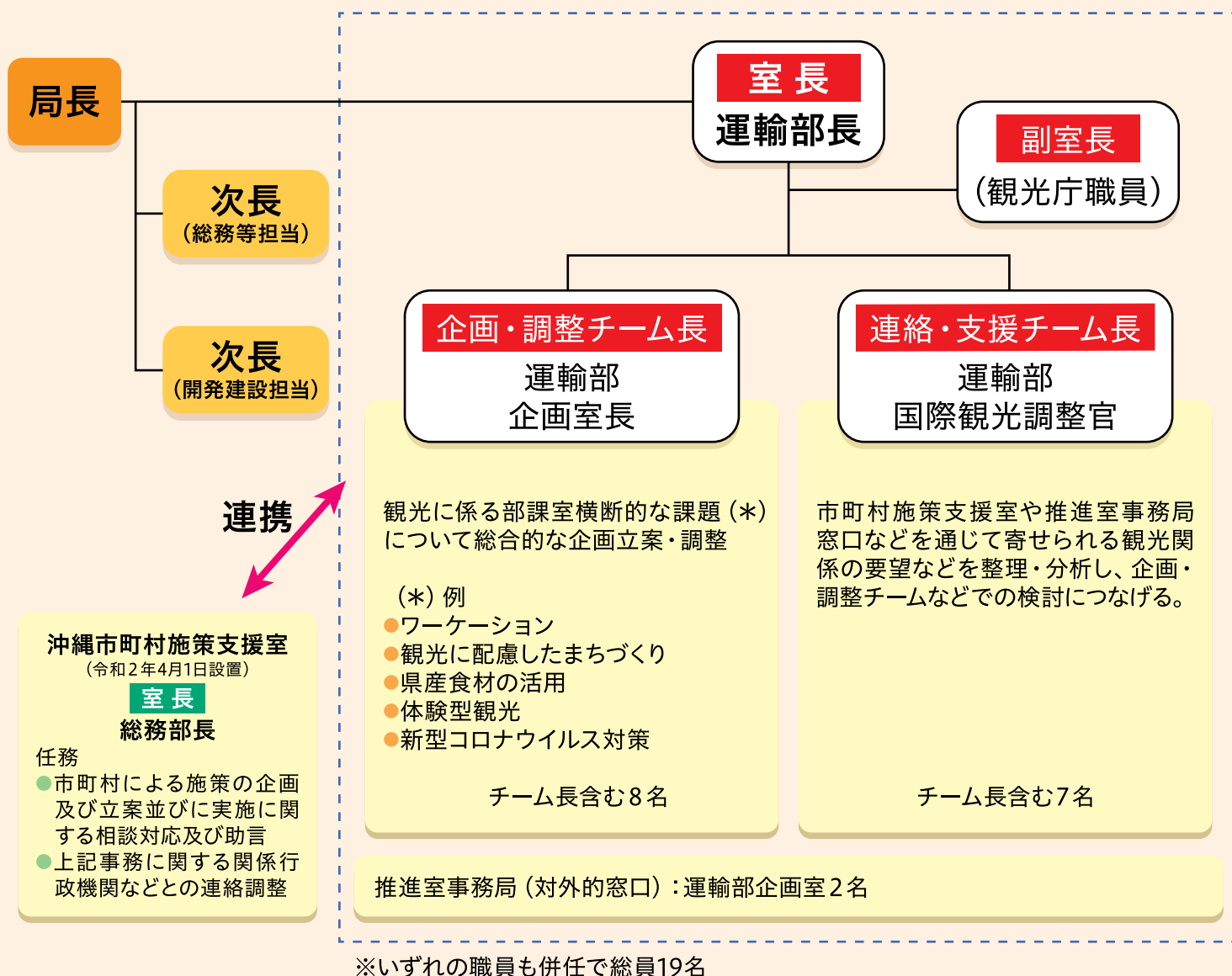


推進室の看板掛けの様子

組に活かすとともに、必要に応じて関係省庁につながるなどにより、市町村などの観光施策が推進するよう後押ししてまいります。具体的な要望については、例えば、観光に関する人材育成・確保や滞在型観光の推進、二次交通の確保、観光資源の磨き上げなど様々な課題・要望が挙げられています。

1月19日、発足式後の勉強会において、沖縄観光の抱える課題や今後推進室が行う取組について共通認識を図りました。また、2月19日にも勉強会を実施しております。また、推進室長を筆頭に、久米島町、大宜味村、名護市などの県内各市町村を訪問し、意見交換を通して地域の課題

沖縄総合観光施策推進室の体制 (令和3年1月19日設置)



や要望をお聞きしております。

今後も、市町村、観光地域づくり法人(DMO)、観光協会、関係団体に対するアンケートなどを通してニーズを把握した上で、連携施策の検討、予算の確保・執行などを進める予定です。その上で、国際的・全国的な視点に立ち、沖縄観光において先端的・モデル的な取組事例を創出することを目指し、例えば、ワーケーション、観光に配慮したまちづくり、県産食材の活用、体験型観光などの推進について、部局横断的に取り組んでまいります。



勉強会の様子

お問合せ先
沖縄総合事務局 沖縄総合観光
施策推進室

☎098-866-1812

(運輸部企画室内)